

## 地域連携

## 地域ボランティア論

【担当者名】○西郷 達雄 (t-saigo@hoku-iryu-u.ac.jp) 富家 直明 池田 宏(非常勤講師) 小峰 彩椰(特別講師) 山谷 文人(特別講師) 高田 光(特別講師) 西田 篤人(特別講師) 浜頓別町職員(特別講師)

## 【概要】

本授業は、生涯学習の一環として重要な役割を担うボランティアの理論と実践活動を体系的に学ぶものである。社会教育的な視点から、地域における活動が「個人の学び」と「豊かな地域づくり」にどのように寄与するかを考察し、多職種連携や地域連携の理念を理解する。これらを通して自己理解を深め、地域社会に貢献する意志を有した人材の育成に寄与することを目的とし、講義ならびにボランティア体験の実践を行う。

## 【学修目標】

ボランティアの歴史と理論に関する基礎知識を得るとともに、社会教育的な視点から、医療、福祉、環境、まちづくりなど地域の諸課題を生涯学習のテーマとして広く概観する。また、実際に多職種連携を伴うボランティア活動を実践することによって、自己理解を深めるとともに、地域社会の形成や社会的な問題の解決に対する意欲を高めることを目標とする。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ボランティア活動の理念と現代的意義	本講義のガイダンスを行い、生涯学習の一環としてのボランティア活動の理論と歴史を概観する。特に社会教育的な視点から、ボランティアの4原則を単なる定義としてではなく、変化する地域課題に対応するための「主体的な学びと創造のプロセス」として捉え直し、その理解を図る。	西郷 達雄
2	利尻富士町におけるまちづくり	利尻富士町における医療・教育・福祉・環境・文化等の現状を概観し、地域課題の解決に向けた多職種連携のあり方と、ボランティア活動が果たす地域社会への意義について学ぶ。	山谷 文人(特別講師) 西郷 達雄 富家 直明
3	江差町におけるまちづくり	江差町における医療・教育・福祉・環境・文化等の現状を概観し、地域課題の解決に向けた多職種連携のあり方と、ボランティア活動が果たす地域社会への意義について学ぶ。	小峰 彩椰(特別講師) 西郷 達雄 富家 直明
4	浜頓別町におけるまちづくり	浜頓別町における医療・教育・福祉・環境・文化等の現状を概観し、地域課題の解決に向けた多職種連携のあり方と、ボランティア活動が果たす地域社会への意義について学ぶ。	浜頓別町職員(特別講師) 西郷 達雄 富家 直明
5	中標津町におけるまちづくり	中標津町における医療・教育・福祉・環境・文化等の現状を概観し、地域課題の解決に向けた多職種連携のあり方と、ボランティア活動が果たす地域社会への意義について学ぶ。	高田 光(特別講師) 西郷 達雄 富家 直明
6	南幌町におけるまちづくり	南幌町における医療・教育・福祉・環境・文化等の現状を概観し、地域課題の解決に向けた多職種連携のあり方と、ボランティア活動が果たす地域社会への意義について学ぶ。	西田 篤人(特別講師) 西郷 達雄 富家 直明
7	ボランティア実習の事前学習	ボランティア実習に先立って必要な知識、技術、および活動内容について学習する。	西郷 達雄 富家 直明
8 ┆ 13	ボランティア実習	北海道青少年体験活動支援施設にて、ボランティア実習を行う。	関連職員 西郷 達雄
14	遠隔地域における教育現場での学習 ボランティアの実際	遠隔地域の教育現場が直面している子どもたちの現状や課題について学ぶ。学校現場におけるボランティアの具体的な役割を理解する。	池田 宏(非常勤講師)
15	ボランティア実習の事後学習	ボランティア実習の振り返りを行い、その成果と今後の課題に基づく報告書を作成する。	西郷 達雄 富家 直明

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

授業レポート（60％）と 事前事後学習への取り組み（発表会・報告会内容、実習報告書）を含めた総合評価（40％）

【教科書】

教科書は指定しない。必要な資料を配付する。

【参考書】

学生のためのボランティア論（大阪ボランティア協会出版部）（2016）第5刷

原田 隆司 著 ポスト・ボランティア論 日常のはざまの人間関係（ミネルヴァ書房）（2010年）

大阪ボランティア協会（監）巡 静一・早瀬 昇（編）基礎から学ぶボランティアの理論と実際（1997）

池田 幸也 ボランティア論 市民社会の創造 大学図書出版（2022）第2版

【備考】

ボランティア実習（ネパール砂川）に必要な活動経費（施設利用料、食費、交通費）はすべて自己負担となる。初回授業ガイダンス時にて、ボランティア実習内容について説明をするので、履修予定の学生は必ず講義に出席すること。

【学修の準備】

配付資料に基づいた予習、復習を行うこと。

江差町、浜頓別町、利尻富士町、中標津町、南幌町のそれぞれのホームページを閲覧し、予習復習を行うこと。

< 授業時間外学修 >

予習（90分）：配付資料に基づいた予習、復習を行うこと。

復習（150分）：学習の振り返りをし、短くまとめる。

いずれも生成AIを積極的に活用して対話、知識確認、関連情報の深掘りを行ってください。

【ブルークレジットシステムについて】

本授業は心理科学部臨床心理学科の研究協力者ブルークレジットシステムに従って、様々な研究への参加・協力を最大5%の加点として評価する（詳細については初回講義にて説明する）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP10：地域連携や外国語の学修を活かして地域の暮らしや支援に関する深い理解と異文化を理解し尊重する国際性を身につけている。

DP2：豊かな人間性・自立性・創造性・協調性等を身につけている。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

西郷 達雄（公認心理師、社会教育士） 富家 直明（公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

ボランティア活動に必要な臨牀的かつ実践的な知識を修得できるような教育を展開する。